

Ⅱ. 結果の要約

1 出生数は減少

出生数は 4,457 人で、前年の 4,901 人より 444 人減少した。

出生率（人口千対）は 5.1 で、前年の 5.5 を下回った。

合計特殊出生率は 1.24 で、前年の 1.33 を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は 14,586 人で、前年の 14,535 人より 51 人増加した。

死亡率（人口千対）は 16.7 で、前年の 16.4 を上回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 22.7 %、16.1 %、14.7 %となっている。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 10,129 人で、前年の△ 9,634 人より 495 人減少した。

自然増減率（人口千対）は △ 11.6 で、前年の△ 10.9 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4 死産数は減少

死産数は 78 胎で、前年の 96 胎より 18 胎減少した。

死産率（出産千対）は 17.2 で、前年の 19.2 を下回った。

5 婚姻件数は増加

婚姻件数は 2,966 組で、前年の 2,944 組より 22 組増加した。

婚姻率（人口千対）は 3.4 で、前年の 3.3 を上回った。

6 離婚件数は増加

離婚件数は 1,479 組で、前年の 1,466 組より 13 組増加した。

離婚率（人口千対）は 1.7 で前年の 1.66 を上回った。

※表中の数値は、四捨五入による数値のため、端数において合計が一致しない場合がある。